

議 事 録

会議名	平成２９年度第１回山陽小野田市障害福祉計画検討委員会
開催日時	平成２９年７月２７日（木）午後２時００分～午後３時３０分
開催場所	小野田保健センター 健康増進室
出席者	宇部公共職業安定所 石田良恵 社会福祉法人山陽小野田市社会福祉事業団 内田隆史 小野田医師会 川端章弘 山陽小野田精神保健家族会 黒瀬桂子 山陽小野田市民生児童委員協議会 桑原照道 山陽小野田市障害者協議会 佐々木勇蔵 社会福祉法人神原苑 澤村知美 一般公募 西廣美智子 山口大学医学部 長谷亮佑 一般公募 長谷川みゆき 山陽ボランティア連絡協議会 水田愛子 厚狭郡医師会 村上紘一 小野田ボランティア連絡協議会 森本眞智子
欠席者	山陽小野田市地域包括支援センター運営協議会 上村篤子 社会福祉法人山陽小野田市社会福祉協議会 沖野 浩 光栄会障害者就業・生活支援センター 藤本尚希 山陽小野田市教育委員会学校教育課 三輪孝行 ＮＰＯ法人山陽小野田市手をつなぐ育成会 矢田英治
事務担当課 及び職員	健康福祉部長 河合久雄 健康福祉部次長兼障害福祉課長 兼本裕子 障害福祉課長補佐 岡村敦子 障害福祉課障害支援係長 山本真由実 障害福祉課障害福祉係長 大坪政通

会議次第	1 健康福祉部長あいさつ 2 委員紹介 3 会長あいさつ 4 議事 (1)「山陽小野田市障がい者計画」について ① 第1章 計画の策定に当たって ② 第2章 障がい者を取り巻く現状について ③ 第2章 障がい福祉に関するアンケート調査の結果（概要） ④ 第3章 障がい者計画の基本理念と基本目標 第4章 施策推進の方向 (2) その他
	1 健康福祉部長あいさつ 健康福祉部長が挨拶を行った。 2 委員紹介 自己紹介で委員紹介を行った。 3 会長あいさつ 内田会長が挨拶を行った。 4 議事 ※山陽小野田市障害福祉計画検討委員会規則第4条第2項により、内田会長が議長として議事進行を行う。 (1)「山陽小野田市障がい者計画」について ①「第1章 計画の策定に当たって」について、事務局が説明を行う。 質疑応答はなし ②「第2章 障がい者を取り巻く現状」について、事務局が説明を行う。 質疑応答はなし ③「第2章 障がい福祉に関するアンケート調査の結果（概要）」について、長谷委員が説明を行う。 質疑応答はなし ④「第3章 障がい者計画の基本理念と基本目標」及び「第4章 施策推進の方向」について、事務局が説明を行う。 質疑応答は次のとおり 「第3章 障がい者計画の基本理念と基本目標」について 委員：47ページの基本理念では「障害のある方」、基本目標では「障がいある方」と記載の統一がなされていないが、どうしてか。

事務局：「障がいある方」を「障がいのある方」に訂正する。

委員：視覚障がい者向けに新たな製品、例えば音声の出る体重計や血圧計などが販売されるような場合に、視覚障がい者へお知らせする方法、体制を何か考えられないか。

事務局：基本理念と基本目標は、障がい者計画の大きな方向性を示すものである。

議長：基本理念と基本目標の部分であるので、この提案は、第4章施策推進の方向の中に具体的に入れていくことになるのでは。

事務局：情報発信については、第4章57ページに「聴覚障がい、視覚障がいの方など、意思疎通が困難な方に必要な日常生活用具の給付事業の周知に努めます。」と記載している。

委員：了解した。

「第4章 施策推進の方向」について

委員：71ページの『「障がい者差別解消支援地域協議会を」設置し、』は『「障がい者差別解消支援地域協議会」を設置し、』ではないか。

事務局：訂正する。

事務局：計画の内容だけでなく、レイアウトや表現方法についても、意見をいただきたい。

議長：市民の方に分かりやすい表現にしていきたい。

(2) その他

委員：重度心身障がい者医療の助成について、身体障がいであれば3級以上で該当になるはずだが、該当者と思われる方が助成を受けていないケースがある。申請しないと助成されないのか。

事務局：申請が必要である。市広報の掲載を定期的に行い広報に努めているが、所得要件により非該当であった方が、退職等により所得が下がり該当になる場合に、本人が制度を認識しておらず申請しないこともあるので、制度の周知について医療機関にも協力いただきたい。

委員：「障がい福祉のしおり」に記載されている紙おむつ助成について、医師の意見書に具体的な支給要件の記載がないのでは。

事務局：紙おむつについては、高齢者施策にも助成制度があるため、持ち帰って確認する。

障害福祉課長があいさつの後、閉会。